

同志会新聞

発行者
(株)都城園芸花市場
生産者同志会
第10号

発行日
平成20年6月6日

編集者 原田 修作

どづなる 原油価格高騰

年明け早々一月二日のニューヨーク原油先物取引市場において、一バレル百ドルの過去最高高値を付け二ユーロの話となりましてが、五月二十二日には百三十五ドルをつけるなど、我々の日常生活に深刻な問題を突きつけてきた。

原油価格の歴史

我々花弁業界においても、重油が一リッター百円近くの価格となりビニール等の資材価格上昇とあわせ深刻な問題となってきた。

そこで今回の同志会新聞に各方面の資料をもとに、現在の原油市場の現状をお知らせしたいと思えます。

今回の資料は福岡銀行調査月報及び第一生命経済研究所の資料を参考とします。

*バレル：原油取引の単位で、日本語で「樽」の意味。

1970年代：高騰期
第四次中東戦争により中東産油国がイスラエル支援国に禁輸措置を行った第一

次オイルショック、イラン革命によりイランが輸出を停止した第二次オイルショックといった二度の供給危機により価格が急騰し、物価が高騰し日本経済全般に大きな影響を与えた。

1980年～90年代：長期低価格安定期
70年代の反動により世界的な省エネブームがおき、需要の減退とともに長期的な低価格基調が続く(原油価格は1バレル10～20

ドル) OPECは価格暴落を防止するため需給コントロールを開始し、新規油田開発などの生産供給能力の拡大を抑制したが、非OPEC諸国ではこの時期に油田開発が進んだ。

また、この時期に原油先物取引市場が開設され、原油価格は徐々に先物市場の影響を受けるようになる。

2000年以降：高騰期
二千年以降の世界の経済はブラジル・ロシア・インド・中国が、自動車などの「モノづくり」による経済成長軌道にのって来た事に象徴される。

多いことにより、労働人口は多く、消費人口も多いうことから相乗効果を生み、急激な経済成長につながっている。そしてこの「モノづくりによる経済成長」は膨大な金額の設備投資と、それに伴う大量の石油消費を生み出した。

一方供給側のOPEC加盟国は長らく続いた価格低迷期の間、新規油田の開発を制限しているため生産供給が低下しており、世界的な需給逼迫懸念を呼び、今回の高騰につながっている。

先を求め年基金基金などが、将来価格の上昇を見込み差益を得るための投機行為として、原油先物市場に資金を投入する現象が起きている。

現在の原油先物価格のうち三十%は投機マネー流入による上昇といわれている。

これが、株や不動産であれば「高すぎれば買わない」という選択肢があります。原油などの一次エネルギーいわゆる生活必需品の場合買い控えるのにも限界があるため、価格に不満があっても購入せざるを得ないのが現状です。

最低でも15～20年かかるといわれているそうです。

運良く油の出る井戸が見つかったても、集油ガス施設・処理施設・貯蔵施設・パイプラインなど、精油所及び関連施設の建設には3年かかり、環境対策を含めた設備コストは莫大なものになります。

生産企業は、生産量のレベルやピーク生産期間およびコストなどを予め計算してから生産にかかりますが、一方の販売価格は需要と供給の関係の中で変動する相場ものであり、膨大なコストや時間に対して収益を得るまで長い時間がかかるというリスクを背負っております。

このため、世界の原油生産企業(大半は国有化)は新規の油田開発に非常に慎重で豊富な埋蔵量を持ちながらも、順調に生産量が増える状況にはありません。

また、既存の精油所の設備更新も同じ理由で滞っており、特に米国内の精油所の老朽化と度重なる事故に伴う稼働率の低下は、米国内の供給不足懸念を生み、価格高騰の一因となっております。

次ページに続く

原油価格高騰の要因

構造的要因
原油価格の歴史の中でもあるように、原油価格低迷基調が続く産油国側が供給を抑制した一方で、中国に代表される四力国の経済発展を主要因として国際的な需要急増より価格が上昇したものである。

投機マネー要因
世界的な金余りの中で、米国のサブプライムローン問題に反を発した世界的な経済の減速観測から、だぶついた資金が投機の対象として原油・レアメタル・食料などのモノに向いました。

短期的な利鞘稼ぎを狙うヘッジファンドや分散投資

原油価格高騰の要因

原油生産のリスク

先を求め年基金基金などが、将来価格の上昇を見込み差益を得るための投機行為として、原油先物市場に資金を投入する現象が起きている。

現在の原油先物価格のうち三十%は投機マネー流入による上昇といわれている。

これが、株や不動産であれば「高すぎれば買わない」という選択肢があります。原油などの一次エネルギーいわゆる生活必需品の場合買い控えるのにも限界があるため、価格に不満があっても購入せざるを得ないのが現状です。

最低でも15～20年かかるといわれているそうです。

運良く油の出る井戸が見つかったても、集油ガス施設・処理施設・貯蔵施設・パイプラインなど、精油所及び関連施設の建設には3年かかり、環境対策を含めた設備コストは莫大なものになります。

生産企業は、生産量のレベルやピーク生産期間およびコストなどを予め計算してから生産にかかりますが、一方の販売価格は需要と供給の関係の中で変動する相場ものであり、膨大なコストや時間に対して収益を得るまで長い時間がかかるというリスクを背負っております。

このため、世界の原油生産企業(大半は国有化)は新規の油田開発に非常に慎重で豊富な埋蔵量を持ちながらも、順調に生産量が増える状況にはありません。

また、既存の精油所の設備更新も同じ理由で滞っており、特に米国内の精油所の老朽化と度重なる事故に伴う稼働率の低下は、米国内の供給不足懸念を生み、価格高騰の一因となっております。

次ページに続く

原油生産の リスク2

価格弾力性

価格弾力性とは、価格の変動に対する需要・供給両面での弾力性を指します。

原油や鉱物などの一次産品（自然の中で採取され、加工されていない産品）は価格が倍になってもただちに生産量を二倍には増やせない「価格弾力性の低い」商品ということになります。先に説明した通り、原油生産は油田開発から生産まで莫大な時間とお金がかかる事業ですので、価格が高騰したからと言って、弾力的な生産調整ができないからです。

これに対して自動車などの耐久消費財は、たとえば販売価格を根引きすれば短期的には販売台数を伸ばせるといった、価格弾力性の高い商材といえます。1997年のアジア通貨危機の際には両者の価格弾力性の違いが顕著になりました。当時、OPECはASEAN4カ国の1990年代前半の自動車生産増加に伴う需要急増を受けて、97年の総会で原油の増産を決めました。同年ASEAN4カ国では通貨危機により需要減退で自動車販売台数が急激に減少してしま

自動車メーカーは価格を維持したまま減産体制に移行できず、原油は短期的な生産調整ができず、価格暴落により一時1バレル11ドル台まで落込みました。

世界の産油国はこの時の苦い経験を今でも忘れておりません。OPECはこの高騰期にも関わらず販売価格1バレル20〜30ドルで予算を立てています。また、今年の1月のOPEC総会では値崩れを嫌い増産を見送りました。

今後の見通し

今般の価格高騰が一時的なものではなく、ブラジル・ロシア・インド・中国の経済発展に象徴される新興国における需要の増加と、OPECを始めとする産油国側の供給能力の減少という

「構造的要因」が根本的な要因である以上、現状施設での増産に応じないOPECの対応から見ても、価格の高騰は当面続き、少なくとも1バレル20〜30ドル台だった価格安定期の水準に戻ることは考えにくい状況です。米原油市場は1バレル80〜90ドル台で推移するとの見込みがあり、もはや高騰ではなく、原油価格は

「この水準が当たり前」になることが予想されています。

この状況に追い討ちを掛けるのが、「産油国自身の工業化」と、それに伴い予想される産油国の国内消費の増加と輸出量の減少です。

世界最大の埋蔵量をもつサウジアラビアは近年、化学製品とアルミニウム、プラスチック製品など、自らが石油資源を活用する産業の振興と、その過程での国内雇用拡大を狙っています。

サウジ国内では港や鉄道、精油所、発電所、アルミ精錬所などの大型インフラの建設ラッシュが起きており、総投資額60兆円の巨額な設備投資が行われつつあります。

この設備投資は当然莫大な原油の消費を生みます。このように、産油国が国内での消費を増やせば、当然、輸出に回る量が減ることが考えられます。さあ、では現在の価格水準が当面続くと仮定して、日本はどのような対策をとっていけばよいのでしょうか。身近なところでは、企業内での経費の削減による地道な努力が重要です。バス会社では信号停車時のアイドリング・ストップを励行し

ているところも出ています。航空会社のパイロットは安全な飛行と共に、いかに燃費効率を上げるフライトをするか、あの手この手の工夫を行ってあります。タクシー会社はハイブリッド車の導入により燃料コストを節約しています。

中略

どれもひとつひとつは地味な対策ですが、塵も積もれば山となる、の言葉どおり1年後、2年後の企業業績に必ずや結果が見えてくる努力だと思っています。

原油高は確かにコストの増加により企業の経営状態、ひいては景気に悪影響を及ぼしますが、一方で第一

次オイルショック以降、日本が努力を重ねてきた省エネや石油代替エネルギーへの転換、それはすなわち日本の技術力を示すもので、これが更に磨きを掛けて他国との差別化をするビジネス・チャンスでもあります。原油価格の水準がこのまま変わらないことを前提とした対応が今後企業の盛衰を分ける大きな分岐点となると思われま

省エネ方法 進行中



内張り二重構造・循環扇

串間市で菊の生産をされている平川さんのハウスで

内張り二重張りになっており、内張り一重目はシールド資材のアルミフィルム。二重目は厚めのPOフィルムが張られている。ハウス循環扇がハウスの内対流を促し温度の均一化を測っている。現在、各方面で進んでいる省エネ対策の見本である。一見の価値アリ！



ヒートポンプ10馬力

す。そのような観点からは、今できる最大の省エネ対策と思われま

宮崎市の松浦バラ園のヒートポンプです。要するにエアコンの大きな物とお考え下さい。松浦バラ園では重油暖房機との併用で、現在は除湿機能を重視しての運転がなされています。暖房用のヒートポンプはネポン社製のグリーンパツケーが販売されている。いま、宮崎の鉄工所で試作中の暖房機、磁石を回転させて熱を取り出す暖房機が試作中です。現在までに3号機まで出来上がり、実用化に向けての試験中の方です。現場を視察したところ、熱は確かに発生しておりかなりの高温の熱風が吹き出ておりますが、風量が足りず、現段階では補助程度の暖房機であります。

ぶらーり洋子

六月に入り

梅雨に入って蒸し暑いです
ね。

作物にも影響大ですし、
・・・などとノンキな場合
じゃなく、この厳しい時期
をどう乗り切るか。

物価の上昇は、次々と多方
面へ広がり、生産者はもと
より、販売店も頭をかかえ
ています。

物が減り、暴動が起きれば、
犯罪も今の比ではないだろ
う。

今は先がみえない。・・・

我社に三月新入社員二名、
言うまでもないが若い！眩
いばかりの光と希望とチャ
レンジ精神等を持ってい
て、うらやましい限りであ
る。

そんな彼らに読んで欲しい
と云われている本が

『道元禅師』

日常的な歯みがきから、食
事の作法、掃除等の習慣を
広めたのが、「道元」であ
ることを知ったのは最近の
こと。

仏教の悟りを開くための厳
しい修行は、私達の暮らし
の毎日の中にあり、それを
やる事で学んでいるのだそ
うだ。

汚れた食器は他人の為、磨
くように洗う。

自分の脱いだ靴や、スリッ
パはちゃんと揃える。

身じまいを正す。

心身を正すことから仏道が始
まる。

『道元』とは鎌倉初期の禅
僧で、曹洞宗の開祖。

当たり前のことを当たり前
に知ってきたと言つこと
は、仏法でいう、真理であ
り、この世には真理でない
ものはどこにも無いと言っ
ている。

自然的真理、生理的真理、
この真理に反する者や、物
言が問題になると言ってい
るのだ。

私は宗教家ではないが、人
間生きていく中で、神や仏
と無縁なものはずいずいな
い。

思いやりも人を作り、社会
を明るくする。

相手の身になり、人の嫌が

ることは進んでしよう。こ
れも、思いやりの一つであ
ろう。

反省

つい最近、私も思いやり
に欠けたことがあった。

事前に話しておけば、不快
な思いをさせずにすんだ出
来事があった。

反省と同時にわびたが、相
手の身になって考えること
を怠った。

そこに甘えがあったことも
事実、きつと解ってくれる
等のおごりだ。

「反省」



感謝

いつも感謝している事だ
が、生産者の方々から社員
に色々な物を戴く。

果物や野菜、残業続きの時
は夜食まで戴く、本当に有
難うございます。

品物は勿論だが、その行為
が有難い。私たちもその気
持に応えたい。

大切に育てられた商品を、
精一杯心を込めて販売して
行きたいと思っています。

ご苦労様です。有難うござ
います。「感謝」



ありがとうございます

めだか

一昨年八月の会報で『めだ
か』を飼っていると紹介し
たら、幾人かに『めだか』
を戴いたが次々と死んで昨
年より一匹だけになってし
まった。

そこにとある方が「めだか
をやるよ。めだかより、孫
の方がかわいっっちゃが」と
言う事で、その方の飼って
いる『めだか』を戴く約束
をした。

私は、ゴルフ好きの彼に「ゴ
ルフに誘われたら孫よりゴ
ルフやる」と言ったら「な

んが孫よ。うちん孫は、オ
レが一番好きちゃが」
完全な親ばか、いえ爺ばか
でした。

最後に「内孫じゃねっじゃ
ろ。外孫じゃろ」と言う
「うちん孫じゃかい、むじ
い」。

孫は子供より可愛いらしい
が、私には経験がまだ無
い！！

そんなこんなで『めだか』
を待っていると、月末に
チツチャナ『めだか』が届
いた。

話の中では、大きくて、『白
めだか』『黒めだか』『赤
めだか』がいて「どっさい
やるが」だったが、数匹・
・・・(くすん)

しかしこれには裏話があつ
た。

日時はわからないが職員に
『でかいめだか』を託して
くれたらしいが、行先が事
務所ではなく、職員の自宅
に行ったらしい。

託した相手は、事務所です
かいめだか』を飼っている
と思っていいたらしく、「事
務所にゃ届いちやらんと
や」・・・・

というお話でした。
おーい私の『めだか君』ど
こに居るの？

メタボ

見かけはメタボに見えない
が、内臓脂肪がびっしり
と・・・イコール動脈硬化
なのだ。

「皮下脂肪型肥満」は外か
ら見てもわかりやすいが、
「内蔵型肥満」は外見だけ
ではわかりにくい。

高血圧・高脂肪血症・糖尿病
等の生活習慣病は、それぞ
れ独立した病気ではなく内臓
に脂肪が蓄積した肥満が原
因なのだそう。

特別欲しがった訳でもない
のに、中性脂肪、コレステ
ロール(LDL悪玉)が高
い私。

では、皆さんもメタボにな
らないためには、また改善
をするためには、私が医師
から注意されたことをあげ
てみます。

夜遅くの食事や間食を(お
やつ)をやめる。
濃い味付けをやめ薄味にす
る。

砂糖、糖分を減らす。
肉より、魚、豆類、野菜を
多めに取る。
アルコールを減らす。(ビー
ルより焼酎が良い)
タバコを吸う人はやめる。

飲み会「お金を使って脂肪
を買い内臓に溜め込むこ
と・・カナ?

????????????????
タネが落ちたの？

根性

市場玄関脇、トイレの前にひっそりとビオラの花が咲いています。
下を見て歩く人ばかりでは無い様で、踏み付けられることも度々あるようで、昨日までは何輪か咲いていました。



トイレ前駐車場に咲く根性ビオラ

したが、本日写真をとるときは、一輪だけの状態でした。

でも？なぜ、こんなところにビオラが育ち咲くのでしょうか？

誰かビオラのタネを撒いたのでしょか？ここにビオラの鉢が置かれていたことはないのですが、不思議なことです。

3年前、ど根性大根が新聞、ワイドショーで賑わったことがありましたが、犬走りとアスファルトの間、ア리가せつせと潜り込んでいく程度の隙間に、しっかりと生えております。ど根性大根と同じように根性を見せ立派に花を咲かせております。

昨年夏はこの場所に、朝顔を日よけになるように植えました。夏場と言うこともあり、水遣りが大変で、月曜日はかわいそうなぐらいしおれてしまい、月曜日の朝は息を噴き返らせるのに一苦労でした。

そのような場所に良くぞお前は育ったな。と誉めてやりたい心境です。

昨日入梅し、アスファルトの熱は今日はありませんが、これで天気が回復し暑くなったら大変だ！！

市場に來られて、玄関からは入れるときは、下を良く見ながら歩いてくださいネ。決して踏みついたりしないでください。！！

便乗値上げ???

久しぶりにとある食堂で昼食を取った。

ニユースで、麺類の値上げのことも知っていた。食用油の値上げも知っていた。

いつもの様に、メタボの材料ラーメンと焼き飯をオーダー(頼んだ)

メニュー表を見ると全ての料金が20円から30円全て値上がりしているではアリアマセンカ(古い)

ラーメンの30円の値上げ、麺の値上げ分なのか？でも、その前の値上げのときは材料は上がっていないのに値上げされたヨナ。

普通値上げをする前に、企業努力して精一杯頑張りましたが、値上げします。(考えが甘いのかな)

いつもそんなに美味しいとは思わないラーメン、30円上がったことで美味しくなった???

不思議なのが、焼き飯の値上げ、食用油が値上げされたから、20円の値上げ???. 焼き飯に入っているのは申し訳程度のベイコン他にねぎ少々、それ以外は???.

焼き飯ってそんなにたくさん

ん油を使うのかな???. だからメタボになるのでしょうね!!

今度から油の使用を止めてもらい20円安くしてもらおうかなアアア...

その食堂値上がりしてないのはライスのみでした。さすがに米は材料の値上げが無かったからそのままなのでしょう。

ガソリンの値上げで出前に行くのも大変だろうし、材料の値上げの分だけの値上げでは大変なんだろうなと思ひ、千円札で支払をしたら50円お釣りがきました。でも、今までは百円のお釣りが来て、百円のペトポトルのお茶が買ったのになアアア...でもそうやって、材料が上がったからといって値上げできるところって、いいよなと思ひた。

大変な世の中になったものですね。これから電気料金も値上がりするそうですよ。今度はこの食堂何が値上がりするのか???

これもご時世、値上げは納得します。食堂のおばちゃん、おじちゃん、せめて味

だけはしっかりしたものをこれからもお願いしますネ。

編集後記

昨年の10月に第9号の新聞を出してから、約8ヶ月ぶりの新聞発行。本当にゴメンナサイ!!!

言い訳をするわけではないのですが、平川さん、松浦さんの写真をとって省エネ実践を取材し、発行しようとしたのが1月でそれから、半年.....

それにしても原油の高騰最初は百ドルまでは行かないから、重油が値上がりしたとしても80円までかなと思ひていましたが、これはこれはどこまで行くのでしょうかか言う感じです。

今回の新聞に書きました原油高騰のメカニズムお解りいただけただでしょうか。このことを踏まえ、今自分達は何をしなければならぬのか考える材料になったら幸いです。

燃料が値上がり、燃料焚くの止めるわけにはいかなしいし、低温管理で管理し収穫量を減らすこともできない状況。

今頑張らねばならない時です。